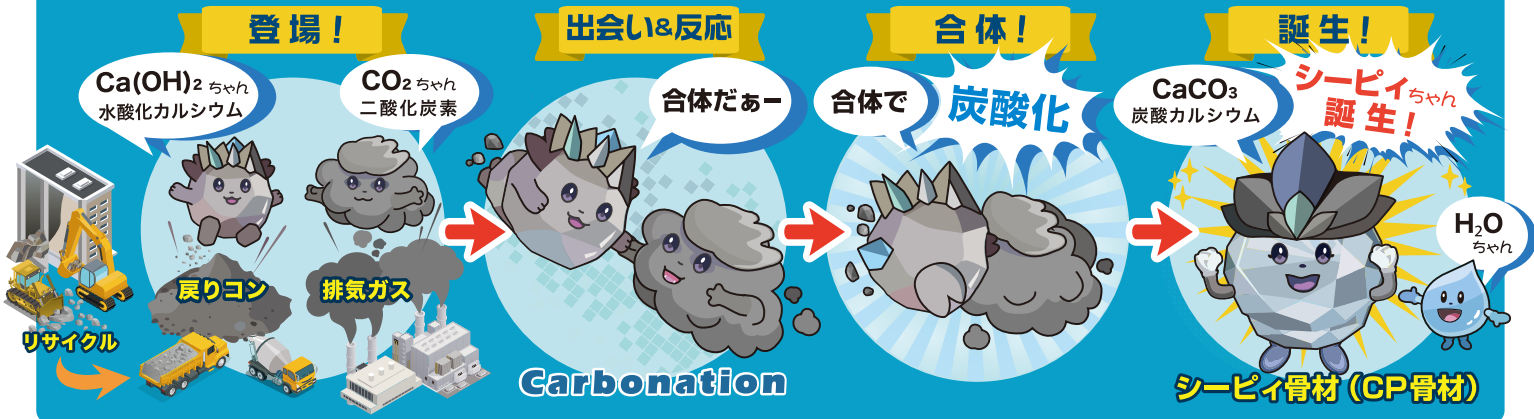


CPコンクリートができるまで

1 廃棄物を「CO₂を固定する素材」に再生する



建設現場で余ったコンクリート（戻りコン）を、ただ捨てるのではなく「再生骨材（戻りコン原料）」としてリサイクル。この骨材に含まれるカルシウム成分が、空気中のCO₂を固定して、安定した「炭酸カルシウム」へと変化します。



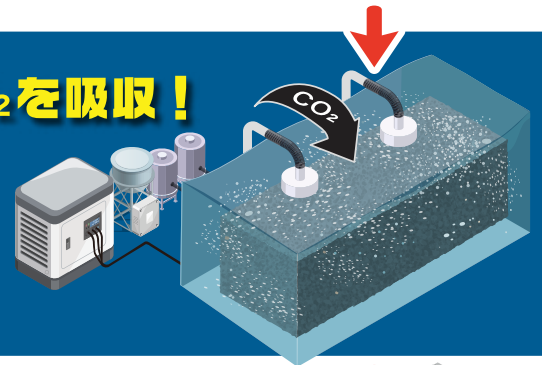
2 CO₂を閉じ込めた「低炭素な生コン」へ

CO₂をたっぷり閉じ込めた「CP骨材」+水+セメントで再びコンクリートを製造します。素材そのものにCO₂が固定されているため、コンクリート構造物を使用しているときや壊すときでも一度固定したCO₂は排出されません。



3 仕上げの「追いCO₂」で、さらにCO₂を吸収!

建物に打ち込んだ後も、特殊なアルカリ溶液をしみ込ませることで、さらにCO₂を内部まで引き込み、固定させます。これにより、コンクリートはCO₂をたっぷり閉じ込めた緻密な構造へ進化します。



4 CPコンクリート完成!

完成した後も空気中のCO₂を吸収・固定し続ける脱炭素社会に適したコンクリートになります。

